

美郷がいちばん、好きです美郷

みなよし

議会だより

第20号
2009.7.15

6月定例会

公共施設や小・中学校を再構築	定例会概要	2
税率アップで滞納者が増えないか	主な質疑	4
農産物のブランド化	研修報告	6
公共施設の再編後で2氏が質問	一般質問	8
お客さんを励みに	キラリ美郷人	12

ラベンダー園でのなかよし園の園児たち

発行／秋田県美郷町議会
編集／議会広報特別委員会

国民健康保険税

税率アップで滞納者が増えないか



今年度中に機能が集約される六郷保健センター

国民健康保険税 条例の改正

議員 国保税率が上がる事により滞納者が増えないか。
税務課長 前年度並みの95%以上の収納実績を確保するために、分納など早めの相談活動をおこなう。

基金の取り崩しを

議員 基金を取り崩して、低所得者などに配慮した課税はできないか。
福祉保健課長 基金は療養給付費の5%以上必要という指導があり、1億

1400万円の残高で、国保運営上必要な金額だ。

医療費の抑制を

議員 医療費の伸びを抑えるための取り組みは。
福祉保健課長 特定健診や人間ドックの検査結果による保健指導をおこなう。

再通知は

議員 特定健診の未受診者へ再通知すべきだ。
福祉保健課長 業務を実施する機関との日程調整が難しい面もあったが、今後対応する。

一般会計補正予算

推進団体設立は

議員 町でおこなう各種交流プロジェクト事業を推進する団体の設立はいつか。

農政課長 8月中の設立に向けて作業を進めている。

後期総合計画の内容は

議員 後期総合計画に向けたアンケートの方向性は。また、総合計画の内容は。

企画財政課長

企画財政課長 今年度が前期総合計画の最終年度であり、町民から検証してもらい、来年度から実施する後期計画に反映させたい。
町長 これまでも住民満足度調査をおこなうなど検証しながら進めて来た。また、国の政策変更により、それに対応した計画になることもある。

国民健康保険 特別会計補正予算

算定根拠は

議員 基金積立必要額

※急激な医療費の増加に対応するための積立金



大田区での子どもも交流

広域での運営は

議員 市町村単位の国保会計が厳しくなっており、県単位など広域的な運営の議論はあるか。
福祉保健課長 広域運営の具体的な話はまだない。

◆第5回臨時会(5月28日) 期末手当0・15カ月減額



5月28日第5回臨時会を開催し、美郷町の一般職員と特別職、議会議員の期末手当の額を減額しました。これは、5月1日付けの人事院勧告の趣旨にともなった改正で、一般職員は本年6月に支給される期末手当0・15カ月減額するものです。この議案は、全員賛成で可決しました。

戸沢藤一氏逝く



5月27日、死去。旧千畑町議会議員を連続2期務め、平成16年から美郷町議会議員として活躍しておりました。美郷町議会運営委員会委員長、大仙美郷環境事業組合議会議員を歴任。ご冥福をお祈りいたします。

提出議案一覧

議案第48号	字の区域の変更について	<全員賛成で原案可決>
議案第49号	美郷町監査委員条例の一部改正について	<全員賛成で原案可決>
議案第50号	美郷町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	<全員賛成で原案可決>
議案第51号	美郷町国民健康保険税条例の一部改正について	<全員賛成で原案可決>
議案第52号	美郷町国民健康保険条例の一部改正について	<全員賛成で原案可決>
議案第53号	平成21年度美郷町一般会計補正予算第4号	<全員賛成で原案可決>
議案第54号	平成21年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第1号	<全員賛成で原案可決>
議案第55号	平成21年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第2号	<全員賛成で原案可決>

議会の動き

4月	3日 議会広報特別委員会 6日 議会広報特別委員会 17日 第4回議会臨時会 3日 議会広報特別委員会
5月	12日 議会広報特別委員会 21日 政策等意見交換会 28日 第5回議会臨時会 5月 議会等意見交換会 議会運営委員会
6月	4日 議会全員協議会 8日 議会運営委員会 8日 議会広報特別委員会 第6回議会定例会
7月	2日 議会全員協議会 6日 議会運営委員会 8日 議会広報特別委員会 第7回議会臨時会 議会広報特別委員会
7月	26日 大仙市・仙北市・美郷町 議会議員交流会 (18日)
10日	議会全員協議会 議会運営委員会 教育民生常任委員会 陳情審査 議会運営委員会 議会議員先進地視察研修
12日	議会全員協議会 議会運営委員会
16日	議会全員協議会 議会運営委員会

先進地視察研修

指導機関と農家一体で農産物のブランド化

北海道当麻町



ワンフロアに集約された農業関係事務所(当麻町)

近年、評価が高まっている北海道産米の中で、10年連続して評価ランキング1位の当麻米、平成20年に一玉65万円の値がついた『でんすけすいか』など、農業王国北海道で特に優

れた農産物を生産販売している当麻町で『高品質堆肥を利用した米作りと施設園芸の取り組みについて』をテーマに研修しました。

北海道の中央部に位置する当麻町は、内陸性気候で古くから米中心の農業

2つ目の視察地は、中核都市の旭川市に隣接し、新築住宅への補助や低額の保育料などの施策で年間50人ほど人口が増加し

ている東川町を訪問し、環境美化活動と特産品開発販売の取り組みについて研修しました。

美しい景観を

北海道東川町

次世代に

業です。平均耕作面積は、6・5畝ですが、キュウリ・スイカ・ミニトマト・花卉など施設園芸での複合経営が積極的に進められています。

平成9年、初穀処理を目的に堆肥センターを建設しましたが、当麻町に畜産農家は一戸もなく、隣の畜産農家から原料の堆肥を運んで製品化しています。これを安価で農家に提供し、水田や施設園芸に利用して高品質のブランド農産物を生産していました。

当麻町の農業が発展している理由の一つに、町の農政課やJA、土地改良区、農業委員会、農業共済組合など農業関係機関を同じ建物に集めている事もあげられます。町と、生産者組織や各農家が一体となったの農業振興が図られており、効率的な営農指導がおこなわれています。

環境美化活動の取り組み

大雪山国立公園に抱かれた東川町は、写真映り

のよい環境と人づくりを目指し、昭和60年「写真の町」を宣言して個性的な町づくりに取り組んできました。

特産品の開発と販売

平成14年1月には「美しい東川の風景を守り育てる条例」の制定と基本計画を策定し、廃棄物・空地・屋外広告などの適正管理義務と乱開発への罰則規定を設けて、環境保全と美化推進を具体的に示しました。また、個人や団体の美化運動に対する表彰や、景観に配慮した住宅建設に対する助成などもしています。



東川町での説明

また、米どころでもあり「米缶 ほしのゆめ」(無洗米150g・160円)は、アウトドア利用や1人暮らしの保存食として人気があります。

この他、米缶「焙煎・発芽玄米」(有機栽培米150g・210円)、米缶「オリジナル」(無洗米150g・210円)などがあり、缶のラベルを自由にデザインして結婚・出産の記念品やキャンペーン用に販売しています。

美しい景観を次世代に

残すことを基本理念とした住民参画のまちづくりと、アイデアあふれる特産品づくりは、わが町でも活かせる事業と感じました。

分別をきめ細かに

北海道由仁町

資源回収奨励金

体が加入しゴミの減量化と資源化に役立っています。

由仁町は、隣接した夕張市や南空知郡内の合併話が不調に終わり単独町として歩んでいる町で、ゴミの減量化の取り組みを研修しました。

昭和42年、長沼町・南幌町・由仁町で南空知公衆衛生組合を設立し、生ゴミの堆肥化センターを建設しました。生ゴミ以外は、埋め立てや札幌市・千歳市の業者に委託して処理しています。

資源回収奨励金は、袋を紙・チラシ・牛乳パックなどの資源ゴミは、袋を使用せず品ごとヒモで縛ります。これを、自治区に一箇所あるゴミ集積ステーションへ決められた日に出す方法です。

また、登録した団体に資源回収代金とは別に奨励金を交付する制度があり、町内会や学校・PTA、老人クラブなどの団

由仁町にて

一般質問

公共施設の再編後で

2氏が質問

部活動—環境整備が重要だ

支障を来さないよう配慮する

議員 学校統合による校舎施設の有効活用については、教育機関のみによる検討ではなく、地域との協議も踏まえて有効な活用方法を見いだすことが大切だ。検討委員会などの設置を含む具体的な方向性についてうかがう。



森元 淑雄 議員

①検討委員会の開催予定時期は。
②検討委員会を開催する際の委員会の構成員の選任の考え方は。
また、中学校部活動の施設についてだが、小学校のスポーツ少年団活動や中学校の部活動は、生涯にわたってスポーツに親しむための基礎を養う大切な時期だ。適切な指導のためには、優秀な指導者の確保や地域人材の登用も大切だが、活動環境の整備が重要だ。適切な練習の場の確保や既存施設の有効活用についてうかがう。
③人数に対する十分な活動場所が確保できるかどうか。
④生徒が活動場所へ移動する手段と安全面について。

教育長 ①美郷町学校再

編計画にあるスケジュールに従って当該校ごとの準備委員会を立ち上げ、再編の最大目標である教育環境を整えるための作業に入る。
②町の基本ラインが見えた時点で、当該学校関係者や地域住民などの意見をうかがい委員会を設置する。
③22年度から、統合中学校校舎の増築工事は教室など複数の特別教室を増築し、授業はもちろん文化部活動などにも支障を来たすことのないよう配慮する。23年度には、



全日本学童軟式野球秋田県大会より

運動部、特に屋外で活動するための施設設備も含めて外構工事をおこなう予定だ。
④再編後の入部状況によっては、安全確保を考慮

しつつ、移動手段などについて検討したうえで、町内にある社会体育施設や空校舎の運動施設の活用も検討する。

質問者(質問順)

- 森元 淑雄 議員
武藤 威 議員
深澤 均 議員
熊谷 良夫 議員

不安解消のための道路整備を 畑屋地区の歩道設置は 平成25年度完成予定だ



熊谷 良夫 議員

議員 公共施設の再編に対する住民の不安解消のために、道路網の整備と交通弱者の足の確保を進めるべきだ。
角六線の塚・鐘田間は、歩道がまだ設置されておらず早急な改良が必要だが、計画の進捗をうかがう。また、南北に通じる道路整備計画と大仙市との接合部分の改良が必要と考える。
再編で施設が遠くなることは、学生・児童・高齢者にとって重大な問題だ。乗り合いタクシーの現在のシステムでは利用しにくい現状で、利便性の向上が大切だ。また、

公共施設間のシャトルバス運行ができないか。

町長 主要地方道角六線・

六郷線の畑屋地区の歩道設置については、県より6月中旬に住民説明会を開催する連絡があった。今年度は、路線測量と設計をし、再度の説明会を開催して用地測量する計画だ。来年度、用地買収と建物調査をし、工事に着手する。現時点で、平成25年度の完成予定だ。
南北の道路は、町中央部の角六線に町道が接続して町の背骨の道路として機能し、東部は、みずほの里ロードが機能している。西部の道路は、既存道路の状況や財源などを調査し検討したい。

大仙市との接続路線は、安楽寺・小婦気線の町部分は完了しており、今年度、大仙市分の舗装が実施される。また、羽貫谷地線は基盤整備事業に合わせて拡幅改良計画を予

定している。

交通弱者の足の確保は、乗り合いタクシーで対応している。この事業は、公共施設の再編も視野にいれ実施してきたが、今後もアンケート調査な

どによるニーズの把握と、ダイヤ改正や乗継割引などの利便性の向上を図りたい。なお、シャトルバス運行は難しい。



歩道整備が望まれる角六線

介護用品の支援拡充を 広範囲に給付している

議員 人口が減少していく中で、高齢者だけが増加していく現状だ。介護サービスの質の確保や行政支援の在り方が課題と思われる。要介護4・5に限らず必要と思われる要介護2・3まで紙おむつなどの介護用品の支援はできないか。

町長 町では、寝たきりや認知症の高齢者で常時在宅で介護している家族などに対して、紙おむつやパットなどの介護用品を給付し、在宅福祉の向上を目的とした美郷町介護用品給付事業を実施している。

介護保険法により要介護4・5といった重度者に加えて特別障害児童福祉手当受給者も対象にしているため、大仙・仙北市より広い範囲に給付しているのでご理解願いたい。



深澤 均 議員

町営ハウスの設置を

議員 「今こそチャレンジ農業夢プラン応援事業」が2年の期間で新たにスタートした。町も県の要綱に基づいて助成を行っており、農業者にとって強い味方だ。振興策の一つとして町民誰もがチャレンジできるように町がハウスを設置してリースする事業を展開できないか。

町長 これまで農業夢プランのかさ上げや町の単独事業により意欲的な担い手に支援をおこなって

きた。ハウスは昨年9棟、今年22棟が導入予定で、園芸施設は着実に増えたり町営のリース事業は考えていない。

体験農業学習を

議員 我が家では、仙台近郊の中学生たちの農業体験を受け入れて6・7年になる。生徒たちは内面的にも非常に良い経験をしていると感じる。できれば、美郷町の中学生にも同じ体験・経験させるべきではないか。



宮城県の中学生在が農業体験

教育長 昨年度からの山漁村交流プロジェクトをはじめ、国や県の動きを見極めて関係部局との連携を図りながら体験学

習を推進する。また、各家庭でも我が家の仕事体験をさせる事を推奨していく。

議員 現在国会で、農地法の第一条から「耕作者」の文言を削除した改正案が審議されている。

これは、農地は耕作者のものという原則を放棄し、貸借を自由化して企業の農業参入に道を開くものであり、家族経営中心の農業が解体され、食料の自給率向上や環境保全にも重大な障害となると考える。

今こそ、地方からの発信が必要だ。基幹産業の農業を守る立場から、町長の見解をうかがう。

また、昨年の秋田県農業委員大会では、農地の権利移動規制の堅持や企

業の農地取得を認めない大会決議を採択した。その立場から、農業委員会会長の見解をうかがう。

町長 改正の内容は、農地法の目的を所有の観点から効率的利用促進の考え方に改め、転用・権利移動規制の見直しや遊休農地対策の強化などだ。

また、農業委員会の許可要件を新設し、地域農業の取り組みを阻害する権利取得の排除規定などを盛り込み、法の趣旨を遵守しながら農地の有効活用を促進する改正と認識している。

しかし、今般の国会審議では、第一条の法の目的部分の文言修正や耕作者の定義・解釈についての議論中と聞いている。根幹にかかわる部分が議論中の法案については、私見は差し控えたい。

農業委員会会長 農地の権利移動の許可要件として、地域の家族農業経営や担い手育成を考慮して確実な農地の適正利用を促し、不適切な利用形態が判明した場合は厳正な措置を講ずる。

一般企業などの農業参入については、措置勧告などを政令や省令に盛り込むよう全国農業委員会会長会などを通じて関係機関に要請している。

企業の農地取得を認めるな 会長会を通じて要請している



集落営農での作業風景



武藤 威 議員



お客さんを励みに

高橋 良三さん
ヨシさん
(美郷町明田地在住)



今回は「道の駅雁の里せんなん」で好評の『おふくろの味・雁の里漬』を製造している、高橋良三さん・ヨシさん夫妻にお話をうかがいました。

平成4年に小遣い稼ぎの思いからこの仕事をはじめたと言います。「最初は、早朝からの作業に加え、冬季間の材料の仕入れが難しくコスト高となって経営を圧迫し、つらい思いをした時期もあった。その都度、家族の励ましに支えられ、何とか乗りきった。そして、何よりも励みになったのは、心をこめて作った漬物を買って求めにくるお客さんの姿を思い浮かべたとき、苦しさなど吹っ飛んでしまう」と

ヨシさんは言います。

そんな苦労が実を結び、平成10年をピークに事業は軌道に乗りました。「後、どれだけ働けるか分からないが、お客さんの気持ちを大切に、体力の続く限り事業を続けたい」と気丈に語ってくれました。

お問合せ…

美郷町金沢字西明田地57
TEL 0182-37-3444

編集後記

二年前、全国議会報コンクールに入賞するという高い目標を掲げて先進地視察や広報研修会に参加し、ついにその夢が現実となりました。本当に嬉しかった。何事もなせば成る事を実感。委員長の名采配に感謝。

私たちも今回20号を最後に次へバトンタッチですが、この間の読者の皆さんにありがとうございます。

高橋 正治

議会特別委員会

議長	伊藤 福章
委員長	吉野 久
副委員長	高橋 正治
委員	熊谷 隆一
委員	鈴木 良勝
委員	熊谷 良夫
委員	戸澤 勉

次回定例会は、8月下旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしております。

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場・千畑庁舎)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp/

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしい大豆インキを使用しています。